

総務教育常任委員会資料

(平成25年2月25日)

【件名】

- 1 一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について（教育環境課・特別支援教育課）
..... 1
- 2 体罰に係る調査の実施について（小中学校課・特別支援教育課・高等学校課）..... 3
- 3 平成26年度県立高等学校の学科改編等について（高等学校課）..... 4
- 4 文化財の県指定について（文化財課）..... 6
- 5 県指定文化財の毀損について（文化財課）..... 12
- 6 第68回国民体育大会冬季大会の結果について（スポーツ健康教育課）..... 13

教育委員会

一定額以上の工事又は製造の請負契約の報告について

平成25年2月25日
 教育環境課
 特別支援教育課

【新規分】	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
	県立倉吉総合産業高等学校管理棟新築工事（建築）	倉吉市小田	県立倉吉総合産業高等学校管理棟新築工事（建築） 井木・伊藤特定建設工事 共同企業体	486,150,000円 （予定価格） 492,054,150円	平成25年1月16日～ 平成26年3月10日	平成25年1月15日	

【変更分】	工事名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工期	契約年月日	摘要
	県立鳥取東高等学校管理教室棟耐震改修工事（建築）	鳥取市立川町五丁目	株式会社大佐古組	契約金額 115,710,000円を 119,862,750円 (4,152,750円 増額)に改める。	平成24年3月2日～ 平成25年1月31日 (変更なし)	平成25年1月30日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁補修の追加等を行ったため。
	県立高等特別支援学校寄宿舎新築工事（建築）	東伯郡琴浦町赤碕	県立高等特別支援学校寄宿舎新築工事（建築）馬野・クラエー特定建設工事共同企業体	契約金額 346,500,000円を 343,703,850円 (2,796,150円 減額)に改める。	平成24年3月9日～ 平成25年1月31日 (変更なし)	平成25年1月18日 (第1回変更)	(変更理由) 柱状改良施工に伴う施工機械の変更等を行ったため。
	県立高等特別支援学校寄宿舎新築工事（機械設備）	東伯郡琴浦町赤碕	有限会社足立水道設備	契約金額 98,280,000円を 102,787,650円 (4,507,650円 増額)に改める。	平成24年3月9日～ 平成25年1月31日 (変更なし)	平成25年1月17日 (第1回変更)	(変更理由) 屋外配管の埋戻し土等の変更等を行ったため。
	県立高等特別支援学校教室棟新築他工事（建築第一工区）	東伯郡琴浦町赤碕	有限会社酒井建設	契約金額 199,500,000円を 199,988,250円 (488,250円 増額)に改める。	平成24年3月15日～ 平成25年1月31日 (変更なし)	平成25年1月18日 (第1回変更)	(変更理由) 外壁クラック改修の範囲追加等を行ったため。
	県立高等特別支援学校教室棟新築他工事（建築第三工区）	東伯郡琴浦町赤碕	有限会社石賀工務店	契約金額 132,300,000円を 133,011,900円 (711,900円 増額)に改める。	平成24年3月13日～ 平成25年1月31日 (変更なし)	平成25年1月24日 (第1回変更)	(変更理由) 消火器ボックスの設置等を行ったため。

工 事 名	工事場所	契約の相手方	契約金額	工 期	契約年月日	摘 要
県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（電気設備）	東伯郡琴浦町 赤碕	県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（電気設備） 中電工・エナテクス 特定建設工事共同企業体	契約金額 165,900,000円を 169,431,150円 (3,531,150円 増額)に改める。	平成24年 3月15日～ 平成25年 7月31日 (変更なし)	平成25年1月14日 (第1回変更)	(変更理由) マルチ工了コン室外機への 電源供給方法の変更等 を行ったため。
県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（機械設備）	東伯郡琴浦町 赤碕	県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（機械設備） 大和設備倉吉・クラ 工一特定建設工事共同企 業体	契約金額 208,110,000円を 213,250,800円 (5,140,800円 増額)に改める。	平成24年 3月15日～ 平成25年 7月31日 (変更なし)	平成25年1月18日 (第1回変更)	(変更理由) 屋外配管の埋戻し土の変 更等を行ったため。
県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（建築第二工区）	東伯郡琴浦町 赤碕	県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（建築第二 工区）高野組・共栄組 特定建設工事共同企業体	契約金額 310,800,000円を 319,828,950円 (9,028,950円 増額)に改める。	平成24年 3月23日～ 平成25年 1月31日 (変更なし)	平成25年1月18日 (第1回変更)	(変更理由) 柱状改良施工に伴う表層 地盤改良の追加等を行っ たため。
県立高等特別支援学校教室棟 新築他工事（建築第五工区）	東伯郡琴浦町 赤碕	美保テクスノクス株式会社	契約金額 182,490,000円を 187,237,050円 (4,747,050円 増額)に改める。	平成24年 3月23日～ 平成25年 1月31日 (変更なし)	平成25年1月18日 (第1回変更)	(変更理由) 鉄骨腐食部等補修・改修 の追加等を行ったため。

体罰に係る調査の実施について

平成25年2月25日
高等学校課
小中学校課
特別支援教育課

昨年12月に大阪市立高等学校において、生徒が部活動顧問の教諭から体罰を受けた翌日に自殺するという痛ましい事案が発生したことを受け、文部科学省より体罰の実態把握等について依頼があり、下記のとおり調査を行うこととしました。

記

- 1 調査内容 学校における体罰について
※体罰の有無、内容、時期、体罰をした者、怪我の有無など
- 2 調査対象 県内全公立学校の教職員、児童生徒及び保護者
- 3 調査方法 調査用紙による個別調査
※各学校を通じて調査用紙を配付し、封筒に入れたまま回収
各学校で確認・集計の上、県教育委員会に報告（市町村立学校については、各市町村教育委員会経由）
- 4 対象期間 平成24年4月1日から各学校の調査日まで
※平成24年3月以前の在学中についても自由記載欄を設置
- 5 スケジュール
(1) 学校からの回答期限……………3月下旬
(2) 文部科学省への報告……………4月末
- 6 その他
調査において新たに体罰の疑いが生じた場合は、個別に事実確認を行い学校及び各教育委員会に対応する。

平成26年度県立高等学校の学科改編等について

平成25年2月25日
高等学校課

昨年10月に策定した「今後の県立高等学校の在り方に関する基本方針」に基づき、平成30年度までに必要となる学級減及び学科改編のうち、平成26年度に実施する予定のものについて、以下のとおり報告しようとするものです。

校名	平成25年度		平成26年度(変更案)		変更理由																																																
	大学科	小学科(コース)	大学科	小学科(コース)																																																	
鳥取東	普通⑦ 理数①	普通科⑦ 理数科①	普通⑥ 理数①	普通科⑥ 理数科①	<p>東部地区の中学校卒業者の減少が見込まれる中、普通学科を1学級減じる。</p> <p>学級減に際して、入学志願時に普通学科と理数学科との区別を設けない「くくり募集」を行うことで、生徒が入学後に自己の能力や適性を見極めた上で学科を選択し、理数分野への興味・関心の高い学習集団を形成して、より質の高い理数教育の推進を図ることを可能とする。</p> <p><「くくり募集」を行う背景></p> <p>平成13年度に、理数教育の推進を図る目的で理数学科が設置され、課題研究などを通して、理数分野への興味・関心を高めるとともに、探究力等の養成に寄与してきたが、近年、中学校段階で文系・理系などなかなか決めにくいことなどから、普通学科を第一志望とし理数学科を第二志望とする生徒も多くなっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>◆東部地区の学級減(H17以降)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H17</th> <th>H18</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> <th>H23</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>普通学科</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鳥</td> <td>岩</td> <td>鳥</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>八</td> </tr> <tr> <td>専門学科</td> <td></td> <td></td> <td>2</td> <td>2</td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>鳥</td> <td>鳥</td> <td></td> <td>鳥</td> <td>鳥</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>野</td> <td>野</td> <td></td> <td></td> <td>野</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div style="width: 45%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>◆くくり募集・・・いくつかの学科やコース等の募集を一括して行い、生徒が入学後、それぞれの学科等の内容等を十分理解した後に、所属する学科等を決定するもので、1年次は共通の教育課程で学習しながら進路について学び、適性を見極め、2年次に生徒の希望等に基づいて学科等を選択する。</p> </div> </div>		H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	普通学科	1	1	1				1		鳥	岩	鳥				八	専門学科			2	2		1	1				鳥	鳥		鳥	鳥				野	野			野
	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23																																														
普通学科	1	1	1				1																																														
	鳥	岩	鳥				八																																														
専門学科			2	2		1	1																																														
			鳥	鳥		鳥	鳥																																														
			野	野			野																																														
青谷	総合学科④		総合学科③		<p>近年、募集定員に対して入学者が満たない状態が続いており、今後も、東部地区、特に旧気高郡内の中学校卒業生数の減少が見込まれている。</p> <p>このため、募集定員を志願者数に見合う適正規模とするため1学級減とし、現在多岐にわたって設置されている系列と教科や科目を精選しながら再構築し、総合学科の特色を生かしながら、確かな学力の定着と一人一人の多様な能力の伸長を図る。</p> <p>■高等学校入学者選抜の競争率の推移(一般入試)</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19年度</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>競争率</td> <td>0.80</td> <td>0.95</td> <td>1.01</td> <td>0.96</td> <td>0.56</td> <td>0.85</td> </tr> </tbody> </table>	年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	競争率	0.80	0.95	1.01	0.96	0.56	0.85																																		
年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度																																															
競争率	0.80	0.95	1.01	0.96	0.56	0.85																																															

校名	平成25年度		平成26年度(変更案)		変更理由
	大学科	小学科(コース)	大学科	小学科(コース)	
米子工業	工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① 都市環境科① 建設コース 環境化学コース 建築科①	工業⑤	機械科① 電気科① 情報電子科① <u>環境エネルギー科①</u> <u>建設科①</u> <u>土木コース</u> <u>建築コース</u>	<p>本県では、魅力ある豊かな自然環境を保全する活動を進めるとともに、風力、太陽光、バイオマスなどの再生可能な自然エネルギーの活用積極的に取り組んでいる。</p> <p>今後、開発が進められている新エネルギー技術の基礎である電気・電子分野、環境化学分野の知識や技術を学び、応用力を持った人材の育成を図るため、環境エネルギー関係の新たな学科を編成する。</p> <p>また、土木及び建築は、共に建設を構成する分野であり、共通の専門性があることから、都市環境科建設コースと建築科とを建設科として再編成して土木コースと建築コースを設置し、土木技術や建築技術の基礎的な知識や技能を幅広く学ぶことができる内容とする。</p>
日野	<u>総合学科③</u>		<u>総合学科②</u>		<p>近年、募集定員に対して入学者が大幅に満たない状態が続いており、今後も、西部地区の中学校卒業生数は減少が見込まれている。</p> <p>このため、募集定員を志願者数に見合う適正規模とするため1学級減とし、総合学科の特色を生かしながら、確かな学力の定着と一人一人の多様な能力の伸長を図る。</p> <p>併せて、現在、地域が中心となって日野高校の在り方を考える協議会等が設置され、学校の活性化策について検討が行われていることから、地域と連携しながら魅力や特色のある学校づくりを進める。</p>

■高等学校入学者選抜の競争率の推移(一般入試)

年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
競争率	0.78	0.56	0.62	0.55	0.44	0.32

※丸囲み数字は学級数、アンダーラインのゴシック部分は変更箇所

【今後のスケジュール】

平成25年3月…定例教育委員会で決定後、周知

文化財の県指定について

平成25年2月25日
文 化 財 課

鳥取県文化財保護審議会において、下記の文化財を鳥取県保護文化財に指定するよう答申があり、平成25年2月12日に開催された2月定例教育委員会において鳥取県保護文化財に指定することが決定されました。

記

【指定】鳥取県保護文化財

名 称	所在地	員 数
おくだ けじゅうたく 奥田家 住宅	鳥取市	8棟

<指定理由>

奥田家は江戸時代には大庄屋をつとめた家柄で、13代目は国会議員も務めた。当家住宅は、鳥取市南部猪子川最上流部の谷間に位置する、猪子集落の南側斜面を背景として、豪壮な石垣を築きつくられた敷地に屋敷を構える。

主屋の建築年代は聞き取りや、座敷構えなどから江戸時代末期の建築と考えられ、間取や座敷のつくりを上層農家の住宅形式を良く伝えている。

新座敷は、当主自らが職人をつれて県外へ視察に出向いて集めた全国の銘木や、集落内で発見された神代杉（じんだいすぎ）をふんだんに用いて、約7年をかけて大正8年（1919）頃に建てられた。

そのほか、庭園や茶室のほか、なまこ壁に特徴のある土蔵など付属屋が複数棟残る。

奥田家住宅は、当地方における江戸時代末期の上層農家の住宅形式を良く伝える主屋と、明治から大正にかけて整えられた屋敷構えが良好に保存されており、その変遷を示す2枚の家相図と併せて歴史的価値が高い。また新座敷は技術の高さを示すとともに、上質の材料を良く吟味し、意匠的に優れた鳥取県内を代表する近代和風建築である。



奥田家全景



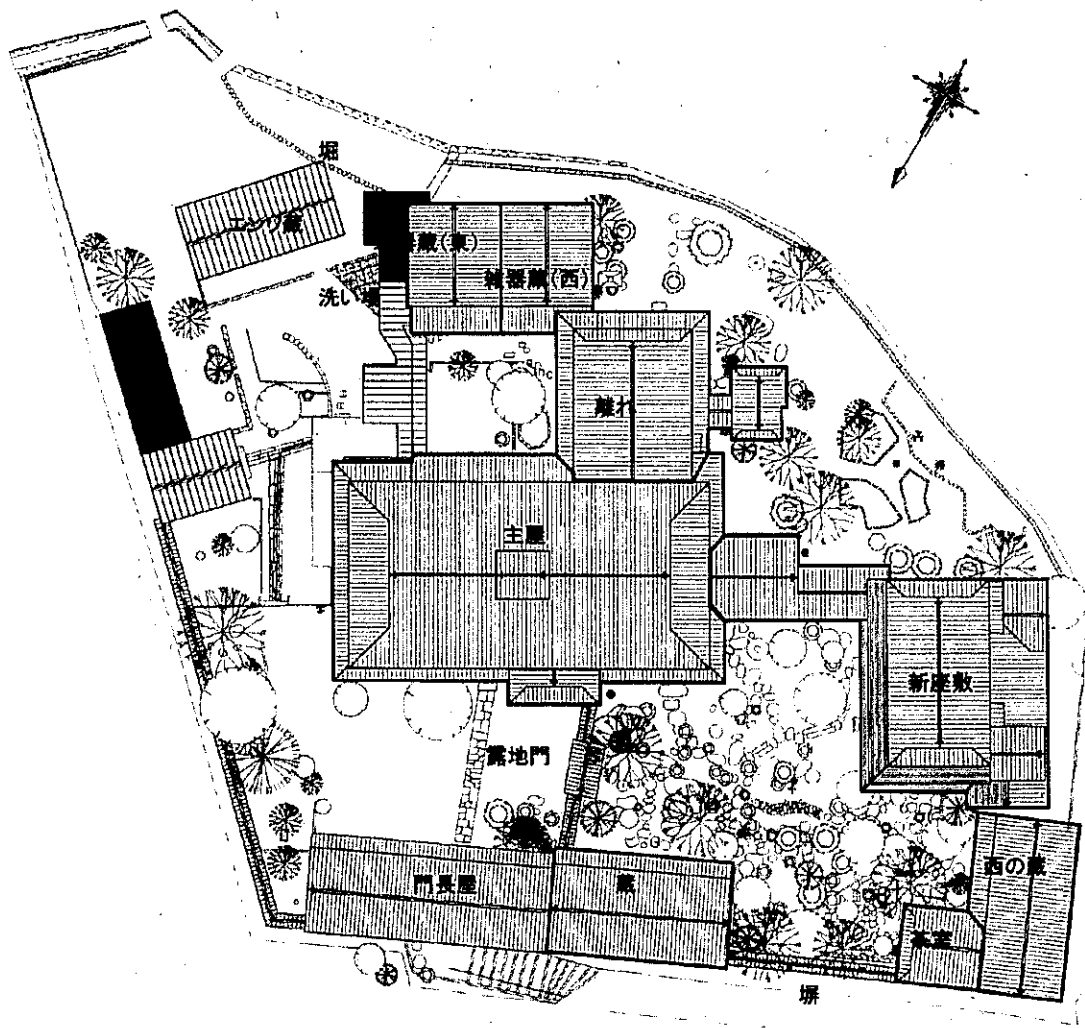
奥田家住宅 主屋



新座敷 外観



新座敷 一階座敷



奥田家住宅 配置図

【指定】鳥取県保護文化財

名 称	所在地	員 数
きくじどう かしやうず 菊慈童・花鳥図	鳥取市	3幅

＜指定理由＞

鳥取ゆかりの絵師として江戸時代後期に活躍した、片山楊谷^{かたやまようこく}（1760～1801）の作品。菊慈童を中幅に、両脇に菊と小鳥を描く花鳥図をそえる三幅対。菊慈童は、不老長寿のシンボルとして人気のある画題であり、本図は楊谷作の菊慈童図のなかでもとりわけ、髪^{かみ}の毛や、顔、そして衣服の文様にいたるまで精緻な描写が徹底されている。

左右の花鳥図も、菊の花弁の表現の細やかさや、花の形、角度の多様性が魅力的である。小鳥の身体には細い毛描きが、その足には微細な盛り上げ細工が施されている。楊谷が描いた菊慈童図の中でも傑作である。



花鳥図(左)

菊慈童図

花鳥図(右)

【片山楊谷】

楊谷（1760～1801）は宝暦10年（1760）、長崎で生まれる。長崎に中国から伝わった新しい中国絵画の技法を取得し、その画技をもって諸国を遍歴する。その時期は不明ながら、鳥取で結婚し、鳥取藩西館に仕える茶道家の片山宗把の養子となる。昭和51年に「猛虎図」が県指定文化財に登録されている。

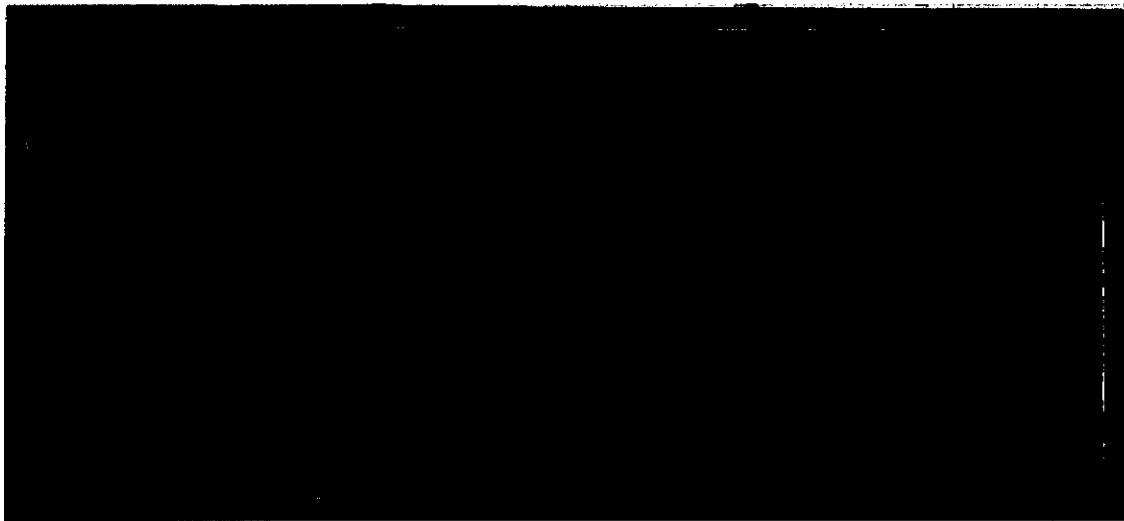
【指定】鳥取県保護文化財

名 称	所在地	員 数
ちっこずびょうぶ 竹虎図屏風	鳥取市	6 曲 1 双

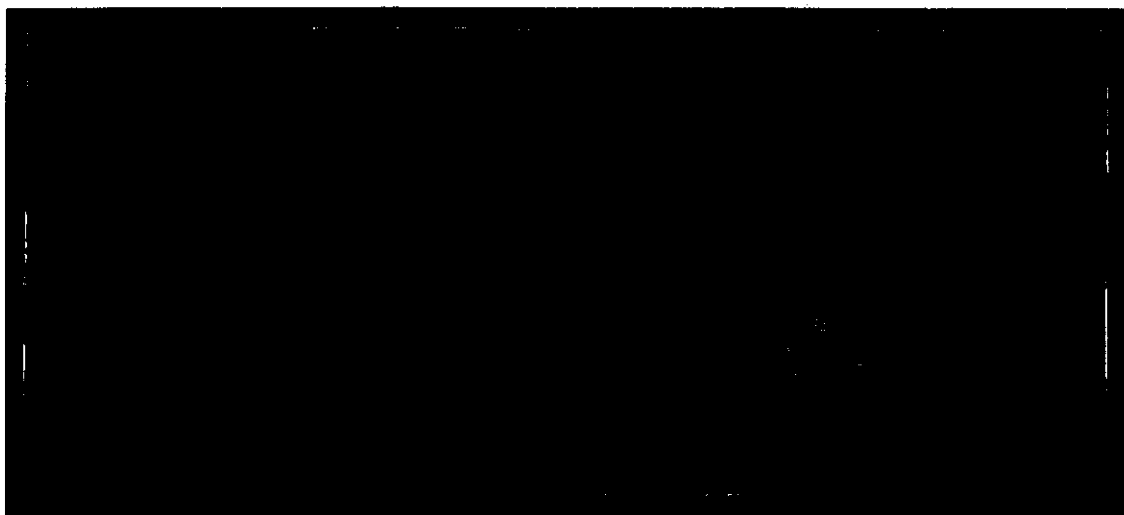
<指定理由>

鳥取ゆかりの絵師として江戸時代後期に活躍した、片山楊谷（1760～1801）の作品。勢いよくはねる虎の体毛表現は、驚嘆に値する。鋭い線で描かれた一本、一本の毛の長さが非常に長いのが特徴であり、その剛毛の集積で虎の体躯がみごとに形作られている。

右隻では竹が、左隻では虎の尾が、画面の外に一度出て、再び戻っており、スケールの大きさと躍動感が感じられる。楊谷はたくさんの虎の絵を描くが、そのなかに本図に匹敵するような剛毛に包まれた猛々しい虎の作例は、未だ見出されていない。そればかりでなく、江戸時代後期の画壇を見渡しても、類例のないユニークな虎の絵として注目される。



竹虎図屏風（右隻）



竹虎図屏風（左隻）

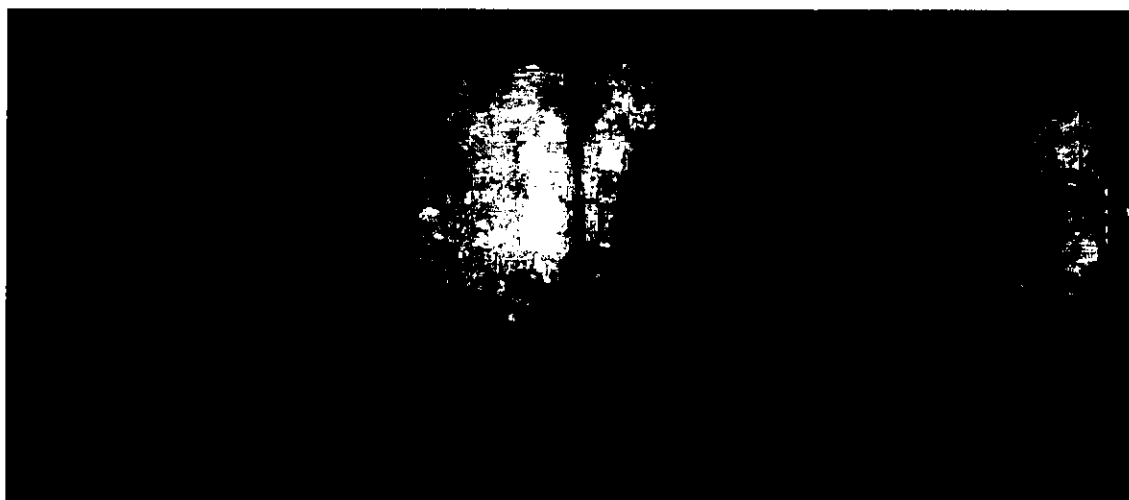
【指定】鳥取県保護文化財

名 称	所在地	員 数
りゅうこずびょうぶ 龍 虎 図 屏 風	鳥取市	6 曲 1 双

<指定理由>

鳥取ゆかりの絵師として江戸時代後期に活躍した、片山楊谷（1760～1801）の作品。楊谷作例のなかでは珍しい、銀箔を全面に押した総銀地屏風である。銀箔のうえに薄く墨が掃かれているせいか、銀の黒変がさほど認められない。

この虎では、毛描きは墨の濃淡だけで行なわれている。白い筋のように見えている部分は淡墨で引かれた線と線とのわずかな隙間である。むろん、その隙間を計算にいれて、筆がおろされていることになる。しなやかな虎の身体の動きが、左隻の渦巻く雲烟のなかの龍と呼応する。楊谷晩年の傑作である。



龍虎図屏風（右隻）



龍虎図屏風（左隻）

参考：鳥取県の国・県指定文化財の件数

() は今回の新規指定決定件数であり外数

県内	県指定文化財	251 (4)	国指定文化財	116
	保護文化財	121 (4)	国宝・重要文化財	55
	絵画	15 (3)	絵画	3
	古文書	4	古文書	0
	彫刻	41	彫刻	18
	工芸品	14	工芸品	5
	書跡	0	書跡	1
	考古資料	20	考古資料	11
	歴史資料	2	歴史資料	0
	建造物	20 (1)	建造物	17
	工芸・考古資料	4	工芸・考古資料	0
	彫刻・建造物	1	彫刻・建造物	0
	史跡	19	特別史跡・史跡	31
	名勝	7	名勝	4
	名勝・史跡	0	名勝・史跡	1
	名勝・天然記念物	0	名勝・天然記念物	1
	天然記念物	53	特別天然記念物・天然記念物	19
	有形民俗文化財	3	重要有形民俗文化財	1
	無形民俗文化財	40	重要無形民俗文化財	3
	無形文化財保持者・団体	7	重要無形文化財保持者・団体	0
	伝統的建造物群保存地区	1	重要伝統的建造物群保存地区	1
	県選択	2	国選択	9
	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	2	記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財	9

県指定文化財の毀損について

平成25年2月25日
文化財課

県指定保護文化財「小札鉾留眉庇付冑」^{こざねびょうどめまびしつつかぶと}（鳥取市歴史博物館収蔵）が毀損しましたので、報告します。

1 毀損した文化財の名称

- (1) 名称 : 小札鉾留眉庇付冑（平成3年3月26日指定）
- (2) 所有者 : 鳥取市
- (3) 収蔵場所 : 鳥取市歴史博物館（鳥取市上町88番地）

2 文化財毀損の経緯と状況

(1) 経緯

- ・平成25年2月5日（火）午後5時15分頃、同館で開催する企画展「鳥取を掘る！！」で当該資料を出品するため同館学芸員が開梱したところ毀損が判明。
- ・毀損は前回展示（平成21年）後、撤収・梱包した際か、今回開梱した際に生じたものかは不明。

(2) 毀損箇所と状況 : 眉庇^{まびし}の左側部分が折損し、本体と分離

(3) 毀損原因 :

- ・眉庇部分に応力がかかり折損したと考えられる。
- ・前回収蔵にあたり梱包状態が適切でなかったこと、また今回出品作業時における梱包状態の確認が不十分であったことが原因として考えられる。

3 今後の対応

- ・鳥取市歴史博物館により、折損部分を速やかに復旧・修復する。
- ・再発防止に向け、県内市町村教育委員会および指定文化財所有者・管理者に対し、「指定文化財の保管と取扱いに関する注意の徹底について」通知をおこなうとともに、保管状況等の把握などを実施していく。

「小札鉾留眉庇付冑」（県指定保護文化財）

鳥取市湯山6号墳から出土した遺物のうちの一点。

冑の鉢部分を構成する小札の形態に特色があり、柊の葉に似た曲線と突起状の加工が施されている。これらを同一方向に重ねて配列し、美しい模様を描きだしており、古墳時代の高度な冑製作技術を知ることができる。5世紀前半に製作されたものと推測され、類例として、東大阪市六方寺往生院所蔵の冑がある。



第68回国民体育大会冬季大会の結果について

平成25年2月25日
スポーツ健康教育課

1 スケート競技会・アイスホッケー競技会

(1) 会 期：平成25年1月26日(土)～2月1日(金)

(2) 場 所：フィギュアスケート 国立代々木競技場第1体育館
ショートトラック 江戸川区スポーツランド

(3) 派遣人数：15名(本部役員7名・監督2名・トレーナー2名・選手4名)

(4) 競技成績

○スケート競技

[フィギュア] 成年女子は16県32名が出場 ※SP上位24位までがFSへ。

種別	項目	氏 名 (所属)	出場人数	競 技 成 績			都道府県別 総合順位
				SP (ショートプ ログラム)	FS (フリースケー ティング)	個人順位	
成年女子	淀 亜紗子 (鳥取県スケート連盟)	SP	32 人	35.26	59.27	94.53	10 位
		FS	24 人	14 位	21 位	20 位	
	濱 尚子 (鳥取県スケート連盟)	SP	32 人	31.62	66.74	98.36	
		FS	24 人	17 位	16 位	18 位	

[ショートトラック]

種別	項目	氏 名 (所属)	種 目	競 技 成 績	
成年男子		厨子龍太郎 (大阪経済大学)	500m	予選 3 組	5 人中 4 位 予選敗退
			1000m	予選 7 組	5 人中 5 位 予選敗退

2 スキー競技会

(1) 会 期：平成25年2月16日(土)～2月19日(火)

(2) 場 所：秋田県花輪スキー場

(3) 派遣人数：43名(本部役員9名・監督2名・選手32名)

(4) 競技成績

競技・種目	種 別	エントリー数	出走順	氏 名	順 位	記 録
ス キ ー ジャイアント スラローム	成年男子A	117	38	大藤 翔太	27	1分02秒69
			80	青砥 童心	62	1分06秒60
			92	小谷 峻慈	55	1分05秒64
	成年男子B	98	28	糸乗 克	16	58秒24
			59	江原 徹	29	1分00秒05
			89	川上 拓磨	51	1分03秒02
	成年男子C	129	31	村上 大	86	1分18秒21
	成年女子B	60	33	今川恵里加	34	1分16秒31
	少年男子	186	21	川戸 将稔	DNF	-
			52	久保竜ノ輔	62	1分03秒55
			111	今川提二郎	120	1分07秒60
			131	秋山 竜輝	57	1分03秒27
			154	金釘 千夏	102	1分05秒76
			178	大澤 聖一	148	1分13秒41
	少年女子	122	62	濱田 空	59	1分08秒19
			78	宇田川 茜	74	1分10秒04
114			瀬戸 葵	70	1分09秒25	
119			吉儀 美波	72	1分09秒53	

競技・種目	種別	エントリー数	出走順	氏名	順位	記録		
ス キ ー	成年男子A	87	65	木村 広輝	56	30分57秒5		
			33	松本 真志	67	32分21秒4		
			3	渡部 和生	58	31分15秒6		
	成年男子B	37	29	加藤 郁海	14	29分33秒8		
			13	川端 大介	23	31分20秒0		
	成年男子C	48	44	岩波 昭宏	17	14分36秒4		
	成年女子A	46	30	山形 陽子	30	17分14秒6		
	少年男子	139	124	佐伯 健太	67	30分35秒9		
			99	遠藤 大輝	106	34分12秒5		
			74	川上 光隆	122	36分56秒5		
			4	村上 弘樹	135	51分42秒2		
	少年女子	69	57	佐伯 美幸	41	17分35秒8		
			32	浅田 彩絵	63	21分10秒6		
			15	田邊 悠梨	66	22分21秒3		
	成年男子 リレー	24	1走	加藤 郁海	13	16	28分49秒3	2時間 02分45秒5
			2走	木村 広輝	18		31分16秒6	
			3走	岩波 昭宏	13		30分50秒1	
			4走	川端 大介	14		31分49秒3	
	女子リレー	17	1走	佐伯 美幸	12	15	15分56秒7	1時間 11分35秒0
			2走	浅田 彩絵	16		19分06秒2	
			3走	山形 陽子	12		16分12秒7	
			4走	田邊 悠梨	17		20分19秒2	
少年男子 リレー	22	1走	佐伯 健太	16	22	31分33秒6	2時間 42分42秒2	
		2走	遠藤 大輝	18		33分33秒6		
		3走	村上 弘樹	22		60分16秒9		
		4走	川上 光隆	22		37分18秒0		

3 天皇杯成績

天皇杯順位 34 位 得点 30 点
皇后杯順位 26 位 得点 20 点

区分	男女総合成績				女子総合成績			
	得点			順位	得点			順位
	参加点	競技得点	合計得点		参加点	競技得点	合計得点	
スケート	10 (10)	0 (0)	10 (10)	30 位 (28)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	21 位 (20)
アイス ホッケー	10 (10)	0 (0)	10 (10)	12 位 (11)	/			
スキー	10 (10)	0 (1)	10 (11)	23 位 (22)	10 (10)	0 (0)	10 (10)	17 位 (17)
合計	30 (30)	0 (1)	30 (31)	34 位 (32)	20 (20)	0 (0)	20 (20)	26 位 (25)

※ () 内の数字は、前年度の状況。

